



市民施設見学会が終了しました

令和元年 8 月 5 日（月）、ふらの市民環境会議と富良野市主催の環境関連施設見学会が開催され、ふらの市民 28 名の方が参加しました。

今年は、自然エネルギーと自然環境をコンセプトとして実施しました。

【下金山小水力発電】

1 秒あたり 4.5 t の水量を使い発電を行っている。また、農業用水として富良野市下五区まで流水しています。



【金山ダム】

金山ダムの内部まで入り見学できました。当日の外気温は 30℃ 近くあった日でしたが、ダム内部は 10℃ にも満たなくとても涼しい（寒い位）気温でした。約 250 段ある階段をおり改めてダムの大きさに感動しました。また、ダム内部は声が響きとても神秘的にも感じました。

金山ダムが完成し今年で 52 年になります。ダム湖満水で、生活用水として北海道全域で 3 ヶ月使用できる貯水量になる。



【湯の沢温泉木質ボイラー】

ボイラーの更新時に占冠村の間伐材を活用した木質ボイラーに変えたとの事で、化石燃料（A重油）を使用するよりコストも下がったとの事です。



【占冠村木質バイオマス生産組合】

広葉樹・針葉樹に分け、針葉樹は湯の沢温泉の木質ボイラーで利用し、広葉樹は、村民、トマムリゾートの暖炉用として販売している。生産組合では、樹液を使ったメイプルシロップも年間500本程度生産販売している。



【鵜川落差工】

落差工から河口（海）までは、約130kmあり、人力で川を下ると1週間かかります。道・国と話し合いを行いながら、4年がかりで魚道の整備が着工することになった。道内でも数少ない上流部までサクラマスが遡上し産卵できる川である。

